

世界遺産アカデミー認定講師 File No.34

このコーナーでは、世界遺産アカデミーの啓発活動にご支援いただいている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当てて、お話を伺います。第34回目は、WHA正会員で認定講師、WHC運営委員も務められている友野智子(ともの・さとこ)さんです。歴史好き、世界遺産好きが高じて、地元・武蔵野市や杉並区などで「歴史と世界遺産」をテーマとした生涯学習講座を行われています。今回は、自他ともに認める「歴女」の友野さんに、学びの魅力について、語っていただきました。

——世界遺産と歴史が結びつく瞬間の喜び

世界遺産検定1級を取得された俳優の体験談や、友人たちの世界遺産の旅報告を聞くにつれ、次第に世界遺産に興味を持つようになりました。もともと歴史が大好きだったからです。新卒後の2年間、イギリスの立教英国学院で歴史の教鞭を取った経験があります。当時は頭の中が世界史と日本史の知識でいっぱいでした。しかしその後、知識は減っていく一方。何年も経って子育てが一段落した頃、昔の歴史知識を少しでも取り戻したくて、歴史検定にトライしようと思いました。しかし、歴史検定は、開始当初こそ脚光を浴びていたものの、受検者が減ってきたためか、マイナーな検定になっていて、いまいち学習意欲がわかなかったの

です。何かを学ぶためには、明確な目標が必要です。そこで2012年、当時地元で話題になっていた井の頭公園検定に挑戦しました。井の頭公園検定は2017年に井の頭恩賜公園が開園100周年を迎えることを記念して開催された、啓発活動の一環です。幸運にも、さほど苦労することなく、1級を取得できました。合格後、公園ガイドを経験しましたが、1級合格者の仲間たちは、「井の頭公園愛」がびっくりするほど強く、彼らに比べて自分の思い入れの少なさや知識不足を不甲斐なく思い、ガイドを続けていく気持ちにはなれませんでした。

ちょうどその頃、友人のひとりが世界遺産検定に向けて勉強すると聞きました。私はすっかり影響され、世界遺産を切り口にして歴史を学び直してみようと思い立ったのです。世界遺産検



白く輝く豪華な姫路城は、計算され尽くされた堅固な要塞。この門を通る前に右上から撃たれてしまう。

定の学習は、モチベーションが向上するばかり。まず世界遺産条約の平和理念に感動。臆気になってしまっていた歴史知識や歴史観が、世界遺産の資産と具体的に結び付いて、より深く明確になってきたのです。世界遺産の学習は、断片的に点在する知識のピースを、パズルを



古代ローマ帝国の境界ドナウ川の真上。ここをゲルマン人に大挙して渡河され、帝国は滅亡へ。

組み合わせるかのようにひとつの絵にまとめてくれます。そして、その絵を俯瞰することで、これまでとは違った見方に気づかされます。時代背景、史実、エピソード、すべてが繋がる瞬間といったら! どんどん学ぶことが面白くなっていきました。とても楽しく学習を進められたおかげで、とんとんと世界遺産検定の3級、2級、1級と合格させていただき、マイスターにも合格。さらには当初目標としていた歴史検定の世界史・日本史両部門でも1級を取得できました。

——世界遺産と歴史の伝道師として

世界遺産検定マイスター合格後、WHA認定講師としても認定いただき、幸せなことに、

らうことだと思っております。セミナー前には、毎回「〇〇国の歴史と世界遺産」と題した資料を作成しています。現在資料は12カ国分となりました。「事前勉強会」も実施しています。学びの世界は広がって嬉しい反面、せつなく勉強したり覚えたりしても、情けないことにすぐに忘れてしまいます。知識を保持し続けるのには「学び直し」を繰り返すしかありませんよね。(苦笑)

認定講師として、武蔵野市の生涯教育「むらさきの会御殿山サロン」や社会福祉協議会員運営の「きりん塾」、「杉並ユネスコ協会」などで講座を行っています。今年の5月からは地元町内のコミュニティセンターでもお話しすることになりました。世界遺産を日本や世界の歴史の時代別に捉えて解説していくシリーズものです。“深い内容を分かりやすく、楽しく、世界と日本を自由に行き来する”がモツ

トーです。かなり濃密な講座だと自負しています。ありがたいことに、受講者の方々は「友野さんの早クチにもすぐに慣れさせられた、講義がエネルギーで聴いている方も元気が出るよ」と言ってくださったりもします。先日、昭和から平成にかけての歴史の解説をしたら、大いにウケました。昭和と平成も歴史になったのですね。

家業は自営の特許事務所ですので、海外の世界遺産を頻りに訪問できません。そのような私にできるのは、世界遺産を切り口にして、その時代背景や世界情勢、遺産に関わるエピソードなどを、臨場感をもって分かりやすく説明し、受講者に歴史と世界遺産の世界へとヴァーチャル・トリップしてもらうことです。熟年の方々だけでなく、日本史や世界史の知識をひたすら詰め込んだ元受験生にも、私の話を聞いてもらえたらと思います。苦しかった受

験勉強が“世界遺産への夢”に繋がりますから。「苦手な歴史、丸暗記がつかった歴史が好きになった。世界遺産を勉強してみようかな。旅行前に予習しなくちゃ」世代を超えて色々な方々に、そう言っていただけるような認定講師を目指します。

再び人前で歴史を語るチャンスが巡ってきました。それ以上に嬉しかったのは、WHAと世界遺産クラブ(WHC)に入会させていただいて、共通の趣味を持つ素晴らしい方々と知り合えたことです。既にご活躍されているマイスターや認定講師の先輩方のおかげで、世界がぐんと広がりました。特にWHA主催の「大使館セミナー」は、大使館を訪問し、各国の駐日大使やスタッフの方々にお目にかかれるという、稀少な体験の機会です。セミナー参加者の方々と交流を深めることもでき、私に新しい“夢と課題”ができました。それは、その国に関する歴史と世界遺産をきちんと知った上で、セミナーに赴き、少しでも大使館の方々と深い会話をするということです。大使館訪問という機会をいただいたからには、その国の予習をすることが、何よりも、その国に敬意をは



受講者の大和久さんは4級と3級を高得点合格者。お歳を感じさせない向学心は、増す一方。(撮影:池田昌泰氏)